

はつかいち たも きゅうしょく  
廿日市のおいしい食べ物を給食でつかってるよ！

# たべもの新聞

しんぶん  
Vol.19 キャベツ

平成26年12月16日 廿日市学校給食センター

さいばい ようす しょうかい  
キャベツの栽培の様子を紹介します

くしま かい  
—玖島の甲斐さん—

きゅうしょく あき りゅう ほつかいちしな い きまぎま ちく そだ  
給食センターでは、秋から冬にかけて、廿日市市内の様々な地区で育てられ  
たキャベツを給食に取り入れています。今回は、玖島地区の甲斐さんの畑へ行  
き、種まきから収穫までの様子取材させていただきました。

かいさんご自身が、ブロッコリーやほう  
れん草などの野菜が大好きで、「子どもた  
ちに、野菜の本当の味を知ってほしい」と  
言われていました。

「野菜作りは、天候に左右されるところが  
難しい。だから、芽が出てきたらうれしい  
し、大きく育ってくれたらうれしいです。」  
と、目を輝かせて話をされていたのが印象  
的でした。



かい ひとし  
甲斐 仁さん

1 たね がつ にち  
種をまく(7月17日)



キャベツの種

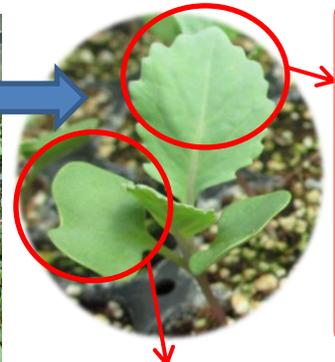


たっぷり水をかけたトレーにくぼみを作り、2000  
粒のキャベツの種を、一粒ずつまいていきます。芽がでる  
までは涼しい場所に置いて育てます。

2 め がつ にち  
芽がでる(7月31日)



芽がでたら、ビニールハウスに移し、  
葉がふた葉から全て本葉になるまで育  
てます。



葉が  
ぎざぎざ  
している  
のが  
本葉  
です。

つるんとしている  
のがふた葉です。

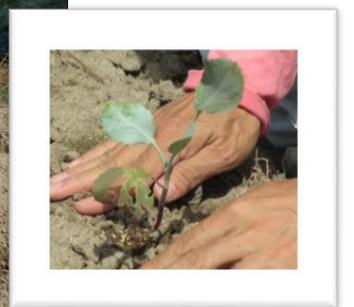
3 はたけ う がつ か  
畑に植えかえる(9月9日)



全て本葉になると、畑への植えかえをします。今年は雨の影響で、予定より約10日ほ  
ど遅くなったそうです。そのため、苗が少し育ち過ぎてしまい、本来は濃い緑色のところ  
が、青みがかった色になってしまいました。



35cm



左の棒の先端に35cmの針金がついていて、  
その幅を目印に右手の棒で穴をあけます。  
この道具は甲斐さん手作りです。

例年は、種を植えても苗に育たないものが1~2割程度ですが、今年は日照不足の影響もあり、茎が細長く育ったもの(徒長)が半  
分以上になり、苗は約900と減ってしまいました。この苗を1本ずつ3つの畝に植えます。植えかえてしばらくは、毎日水をしっかり  
りまき、その後も1日1回は必ず水をまきます。

4 やく にち こ ようす  
約50日後の様子



濃い緑色をした外葉が大きくなってきました。これから  
中の葉が大きく育ち丸く形作っていきます。

左の3つがキャベツで、右端では白菜が育っています。  
この白菜も給食に使用させてもらえることになっています。

5 しゅうかく がつ か  
収穫(12月9日)



大きくて形のよいキャベツができました。

キャベツは寒さに強いので、このまま畑に植えておき、1月になっ  
たら給食に使用する予定です。